

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	1	教職選択
担当教員			
松本 直己			
添付ファイル			

講義概要	この授業では、教職総合演習Ⅰの履修内容を踏まえ、教科指導力や問題解決能力の向上等をねらいに、学習指導案の基本的な書き方と模擬授業、生徒指導・学級経営（ロールプレーイング）、いじめ・不登校対策、遅刻指導、モンスターペアレント対応、ネット社会に潜む問題（生徒の犯罪被害）など、現代日本や世界の様々な教育課題・時事問題をテーマに取り上げ、これからの教師に必要な実践的な指導力を身に付けます。		
授業計画	1	オリエンテーション 指導計画、教職総合演習Ⅱの進め方、課題とレポートの書き方、評価方法等	
	2	講義 学習指導（授業）とは。教材研究のポイント等	
	3	講義 学習指導案の作り方（基本書式）。単元の評価基準、指導と評価の計画、本時の指導と評価の実際等	
	4	講義と討論 高校教育の直面する諸課題。いじめ防止策と不登校対策	
	5	演習 学習指導案の作成1（エクササイズ）。 学習指導要領解説（教科編）と指導書の使い方	
	6	演習 学習指導案の作成2（エクササイズ）。 授業評価・授業観察のポイント。模擬授業の実施計画	
	7	講義と演習 板書計画の重要性。板書の仕方（エクササイズ）	
	8	演習 模擬授業1（理科） 仮説実験授業へのチャレンジ	
	9	演習 模擬授業2（情報） 情報機器（パワーポイントなど）を活用した授業の展開	
	10	演習 模擬授業3（数学） 数学的・科学的な思考力を育てる授業の工夫	
	11	演習 模擬授業4（工業） 基礎的知識、専門的知識の理解と定着を気とする授業	
	12	演習 場面指導1 「授業開始チャイムが鳴ったのに廊下で遊んでいる生徒をどう指導するか」（生徒指導） 「遅刻を注意したら、逆に反抗する生徒をどう指導するか」（学級経営）等の場面を設定し、指導法について演習する	
	13	演習 ロールプレーイング ロールプレーイング（役割演技）とは。学校への苦情・モンスターペアレントへの対応（エクササイズ）	
	14	レポート発表（プレゼンテーション）と討論 日本社会の直面する教育・時事問題を選択して問題提起	
	15	まとめと総合演習	
授業形態	講義、討論、個人研究レポート作成、学習指導案作成、模擬授業、教育技法（ロールプレーイング）の実習（エクササイズ）等で展開します。 アクティブラーニング：①8回、②：8回、③：5回、④：0回、⑤：8回、⑥：8回		
達成目標	・地球的視野に立って行動するための資質能力の基礎を培うこと ・変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力の基礎を磨くこと ・教員の職務から求められる資質能力の基礎を育むこと		
評価方法・フィードバック	演習の取組・発表、最終のレポートの結果等により総合的に評価します。原則として、レポート等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。		
評価基準	秀＝目標達成90～100％ 優＝目標達成80～89％ 良＝目標達成70～79％ 可＝目標達成60～69％ 不可＝目標達成59％以下		
教科書・参考書	参考書：『総合演習の理論と実践』（森山賢一編著 学文社2007年） 文部科学省「高等学校学習指導要領」		

履修条件	教職志望者であること
履修上の注意	学校教育に関するニュースや社会の動きなどに関心を持つこと
準備学習と課題の内容	ワードやエクセルなどの情報機器の操作、ネット検索、レポートの書き方等をマスターしていること（毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度）
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:25%, 思考・判断:25%, 関心・意欲:25%, 態度:10%, 技能・表現:15%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	

2 0 2 5
大学院講義要項

2025年度入学生年次配当表

大学院 授業科目年次配当表(システム工学専攻)

区分	コース	分野	科目コード	授業科目の名称	配当 年次	単位数 必修	単位数 選択	授業時間数 前期	授業時間数 後期	修了要件 (最低履修単位数)	修了要件				
共通講義科目		総合科目群	52000	アカデミック・ライティング	1・2		2	1		4単位以上					
			50650	環境学	1・2		2		1						
			50670	理工学特別講義	1・2		1		集中						
		経営系科目群	51440	安全性設計論	1・2		2		1						
			50720	経営戦略論	1・2		2	1							
専攻講義科目	機械工学コース	共通	52010	機械金属材料学	1・2		2		1	14単位以上	修了要件 修士課程に2年以上在学し、 演習科目4単位、研究科目または建築学研究科目8単位を含めて30単位以上を修得し、 修士論文の審査及び最終試験に合格すること。				
			51650	精密・超精密加工学	1・2		2	1							
			51810	機械動力学	1・2		2	1							
			51540	材料強度学	1・2		2	1							
			51820	流体力学詳論	1・2		2		1						
			50860	エネルギー変換工学	1・2		2		1						
			51390	システム制御	1・2		2	1							
			51400	トライボロジー	1・2		2		1						
		航空	52020	航空宇宙システム工学Ⅰ	1・2		2	1							
			52030	航空宇宙システム工学Ⅱ	1・2		2		1						
		自動車	51560	自動車開発工学	1・2		2	1							
		メカトロニクス	51420	メカトロニクスシステム	1・2		2		1						
	電気電子工学コース	電力・エネルギー	52040	回路システム	1・2		2	1		14単位以上					
			51660	電力エネルギー工学	1・2		2		1						
			52050	エネルギー変換応用工学	1・2		2	1							
		制御・システム	51640	制御工学	1・2		2	1							
			52060	電子機械制御工学	1・2		2		1						
		情報・通信	52070	IoTシステム工学	1・2		2	1							
			51930	信号処理工学	1・2		2		1						
		光応用・電子デバイス	51910	電子デバイス	1・2		2	1							
			52080	パワー半導体プロセス	1・2		2		1						
		システム工学科目群	情報学コース	共通	52090	データマイニング論	1・2		2			1		14単位以上	修了要件 修士課程に2年以上在学し、 演習科目4単位、研究科目または建築学研究科目8単位を含めて30単位以上を修得し、 修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
					50690	経営システム設計	1・2		2				1		
				コンピュータシステム	51630	数理科学	1・2		2				1		
	52100				データサイエンス論	1・2		2	1						
	51410				ネットワークシステム論	1・2		2	1						
	51940				計算機アーキテクチャ論	1・2		2		1					
	51520				最適化論	1・2		2		1					
	51380				コンピュータグラフィックス	1・2		2	1						
	人間・社会		51370	情報セキュリティ論	1・2		2	1							
			51620	人工知能論	1・2		2	1							
			52110	コミュニケーション論	1・2		2	1							
			52120	社会情報学	1・2		2	1							
	建築学コース		共通	50640	人間組織論	1・2		2		1					
				50940	生命工学	1・2		2		1					
				51670	脳と行動	1・2		2		1					
				50950	感覚と認識	1・2		2		1					
		52130		建築学総論	1・2		2	1							
		52140		建築材料論	1・2		2	1							
		意匠	52150	実践建築論	1・2		2		1						
			52160	建築インターンシップⅠ	1・2		4		集中						
	52290		建築インターンシップⅡ	1・2		6		集中							
	52300		建築インターンシップⅢ	1・2		4		集中							
	52170		建築情報論	1・2		2	1								
	52180		計画デザイン論	1・2		2		1							
	建築学研究科目	構造・材料	52190	建築意匠論	1・2		2	1		14単位以上					
			52200	建築空間論	1・2		2		1						
			52210	設計製図Ⅰ	1・2		2	1							
			52220	設計製図Ⅱ	1・2		2		1						
		設備・環境	52230	耐震設計論	1・2		4	2							
			52240	建築振動論	1・2		4		2						
			52250	建築生産論	1・2		4		2						
		建築学研究科目	52260	地域建築環境論	1・2		4	2							
			52270	建築設備計画	1・2		4		2						
			52310	建築学研究Ⅰ	1・2		2	2	2						
	演習科目		52320	建築学研究Ⅱ	1・2		2	2	2	選択必修 8単位 ★					
			52330	建築学研究Ⅲ	1・2		2	2	2						
			52340	建築学研究Ⅳ	1・2		2	2	2						
			52280	理工学演習1	1・2	1		1	1						
	研究科目		51740	理工学演習2	1・2	1		1	1	4単位					
			51750	理工学演習3	1・2	1		1	1						
			51760	理工学演習4	1・2	1		1	1						
			51770	理工学研究1	1・2		2	2	2						
	研究科目		51780	理工学研究2	1・2		2	2	2	選択必修 8単位 ★ ※建築学コース生を除く					
			51790	理工学研究3	1・2		2	2	2						
			51800	理工学研究4	1・2		2	2	2						

【科目履修に関する補足事項】

- 他専攻または他コースに開講される講義科目を履修し修得した単位数については、併せて6単位を上限として自コース専攻講義科目の修了要件に算入することができる。
- 学部科目履修を許可され修得した単位数については、6単位を上限として自コース専攻講義科目の修了要件に算入することができる。ただし、算入できる科目は、Ⅲ類科目のみとする。
- 本学学部在学中に大学院授業科目の履修を許可され試験等に合格した者が当該授業科目の単位の修得を希望する場合、研究科長への願出により単位の認定を行い、6単位を上限として修了要件に算入することができる。修了要件に算入した単位のうち、当該授業科目が他専攻または他コースに開講される科目の単位は、上記1を適用して算入したものとみなす。
- ★研究科目について、選択必修科目8単位とするが、建築学コース生は建築学研究科目8単位を、それ以外は研究科目8単位を修得すること。

大学院 授業科目年次配当表(材料科学専攻)

区分		分野	科目コード	授業科目の名称	配当 年次	単位数		週授業時間数		修了要件 (最低履修単位数)	修了要件
						必修	選択	前期	後期		
共通講義科目	総合科目群	52000	アカデミック・ライティング	1・2		2	1		4単位以上	修了要件 修士課程に2年以上在学し、演習科目4単位、研究科目8単位を含めて30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	
		50650	環境学	1・2		2		1			
		50670	理工学特別講義	1・2		1		集中			
	経営系科目群	51440	安全性設計論	1・2		2		1			
		50720	経営戦略論	1・2		2	1				
専攻講義科目	材料科学科目群	51950	有機反応化学	1・2		2	1		14単位以上		
		52350	コロイド・界面化学	1・2		2		1			
		51470	機能性材料	1・2		2	1				
		51730	固体物理化学	1・2		2	1				
		51190	量子材料化学	1・2		2	1				
		52360	材料科学特論	1・2		2	1				
		52370	構造物性	1・2		2		1			
		51970	高分子科学	1・2		2		1			
		51980	天然物化学	1・2		2		1			
		52390	微生物生態生理学	1・2		2	1				
		51990	遺伝子工学特論	1・2		2	1				
		51670	脳と行動	1・2		2		1			
		50940	生命工学	1・2		2		1			
		51600	食品安全科学工学	1・2		2		1			
		51610	食品機能学	1・2		2	1				
演習科目		52280	理工学演習1	1・2	1		1	1	4単位		
		51740	理工学演習2	1・2	1		1	1			
		51750	理工学演習3	1・2	1		1	1			
		51760	理工学演習4	1・2	1		1	1			
研究科目		51770	理工学研究1	1・2	2		2	2	8単位		
		51780	理工学研究2	1・2	2		2	2			
		51790	理工学研究3	1・2	2		2	2			
		51800	理工学研究4	1・2	2		2	2			

[科目履修に関する補足事項]

- 1 他専攻に開講される講義科目を履修し修得した単位数については、併せて6単位を上限として自専攻講義科目の修了要件に算入することができる。
- 2 学部科目履修を許可され修得した単位数については、6単位を上限として自専攻講義科目の修了要件に算入することができる。ただし、算入できる学部科目は、Ⅲ類科目のみとする。
- 3 本学学部在学中に大学院授業科目の履修を許可され試験等に合格した者が当該授業科目の単位の修得を希望する場合、研究科長への願い出により単位の認定を行い、6単位を上限として修了要件に算入することができる。修了要件に算入した単位のうち、当該授業科目が他専攻に開講される科目の単位は、上記1を適用して算入したものとみなす。

授業計画（シラバス）

共 通 科 目
シ ス テ ム 工 学 科 目 群
材 料 科 学 科 目 群

共 通 科 目